



チューリップ畑を見学する園児ら

色鮮やかなチューリップ 浅間のチューリップ畑を園児らが見学

4月15日から17日、養父市チューリップ球根生産部会（西田健次部会長）主催のチューリップ花見会が、八鹿町浅間の円山川右岸ふるさと農道沿いの畑で開催されました。

この花見会は、浅間がチューリップの生産地であることを広く紹介する目的で開催されたものです。約30坪の畑には、赤や黄色など12品種の色鮮やかなチューリップ10万本が花を咲かせていました。

4月17日には、伊佐保育所と宿南保育所、伊佐学童クラブのメンバーら約60人がチューリップ畑を見学。子どもたちは「いろいろな色があつてきれい」と話し、美しいチューリップを見つめていました。



みこしを担いで勇壮に「川渡り」

但馬の奇祭「お走りまつり」盛大に

但馬の奇祭として知られる「お走りまつり」が4月15日、16日に旧養父町地域で行われました。これは、重さ約150キロのみこしを、養父市場の養父神社と長野の齋神社との往復約40キロを練り歩くものです。

15日に養父神社を出発したみこしは、正午過ぎに小城の大屋川で「川渡御」を披露。担ぎ手たちは、雨で増水した激流の中を、胸まで水につかりながら「ハットウ、ヨゴザルカ」と勇ましい声を上げ、川幅約50メートルを渡りきりました。

その後、一行は齋神社のみこしと合流して建屋で一泊。翌16日には、2つのみこしが激しく練り合い、見物人からは大きな拍手が送られました。



見物人が見守る中、激流を渡る担ぎ手たち

市内商工業の活性化を 養父市企業支援センターが開所

大型店の出店、流通の変化などで厳しい状況が続く市内商工業者を多方面からサポートする「養父市企業支援センター」が養父市商工会内に設置され、4月3日に開所式が行われました。

同センターは、厳しい状況が続く地元産業の活性化を図るために、市が商工会に業務を委託して運営。法律や会計、技術、経営コンサルタントなど専門家の派遣や相談業務を行い、新製品の開発・生産、経営革新の支援、創業・開業の支援、人材育成などの事業を展開します。

開所式には関係者ら約60人が出席。梅谷馨市長は「市と商工会が一体となって取り組み、活力ある市にしなければならない」とあいさつしました。



センターの看板を掲げる関係者



新酒の仙櫻を蔵入れする梅谷市長(左)と壺阪社長

坑道でまろやかに

明延鉱山探検坑道で地酒「仙櫻」蔵入れ

養父市の地酒「仙櫻」の蔵入れ式が4月11日、関係者ら約30人が出席して明延鉱山探検坑道内「明寿蔵」で行われ、1升瓶880本と4合瓶1130本が蔵入れされました。

仙櫻は、宍粟市の山陽盃酒造(壺阪興一郎社長)の協力をいただき平成9年から製造をはじめ、旧大屋町内で有機栽培された「兵庫北錦」と氷ノ山の自噴水「ぶなのしずく」を使った純

米吟醸酒です。蔵入れされた仙櫻は、平均温度が12度と酒の熟成に適した明寿蔵で半年間ねかされます。また、すでに熟成が終わった仙櫻と長期熟成の大吟醸・明寿蔵の限定セット販売も開始しました。

壺阪社長は「地域の方の尽力でよい酒に仕上がった。半年間の熟成で味わいにまろやかさが加わる」と新酒の仕上がりについて話しました。

迅速かつ正確な技術を競う

鉢伏スキーパトロール隊が技術競技大会で総合3位

全国のスキー場で勤務するパトロール隊員が、負傷者の応急処置や搬送技術などを競う「スキーパトロール技術競技大会」が、3月25日から2日間にわたり群馬県で開催され、八千高原スキー場などで活動している鉢伏スキーパトロール隊(米田幸雄隊長・22人)が出場しました。

この大会では、室内競技の「三角巾包帯法」と「ロープ操法」、雪上競技の「アキヤポート搬送」と「総合滑降」の計4種目を行い、それぞれの順位と総合順位を競うものです。

通算5回目の出場となった同隊は、室内競技で4位、雪上競技でも5位と健闘し、総合成績では、昨年の総合6位を上回る過去最高の3位という成績をおさめました。

これからも、安心して滑べることができるスキー場づくりのために、活動をよろしくお願ひします。



迅速かつ正確に負傷者を搬送(アキヤポート競技)



団長らが見守る中、整然と行進する消防団員

安全・安心な地域をめざして

養父市消防大会で決意新たに

平成18年度養父市消防大会が4月2日、養父市役所本庁舎周辺で行われました。

この日は、消防団員ら関係者約600人が参加。梅谷警市長や片岡総消防団長らが見守る中、整然とした分列行進が行われた後、会場を八鹿文化会館ホールに移して式典を行いました。式典では、片岡団長が「災害はいつ起こるか分からず、ふだんからの備えが重要。それぞれの持ち場で市民の安全・安心のために取り組んでほしい」と訓示。その後、功績のあった団員に対して感謝状と表彰状が授与されました。最後に、八木川河川敷で各方面隊の代表が一斉放水を行い、地域を守っていく決意を新たにしていました。